らしんばん
RASHINBAN
No.666
2016年9月15日
ボーイスカウト東京目黒１団機関誌
発 行: 高 根 博 信
東京都目黒区中央町2-37-8 TEL 03-5704-4047
http://www.bs-meguro1.com/

BSM1 7th DANBOREE 2061 in KIYOSATO

第7回団ボリーは、8月8日から14日の日程で山梨県・清里を会場に実施されました。今号は団ボリー特集で大増ページ！
各隊はそれぞれの日程とプログラムで野営・舎営をおこない、後半には保護者隊も合流しました。各隊ごとの活動内容は隊の報告をご覧下さい。各隊はそれぞれ独自活動をおこないましたが、最終日午後の時間帯で参加者全員で合同のプログラムを実施し、夜にはバーベキューやキャンプファイヤーをおこない団としてのまとまりと盛り上がりを感じさせました。

実施概要

メイン会場　梨県北杜市高根町清里学校寮区　「清里 自然の森山荘」
保護者宿舎　山梨県北杜市高根町清里 3545　「目黒区立八ケ岳林間学園」

●ベンチャー隊　９-１２日　移動野営（茅野～清里）　１２-１４日自然の森山荘敷地内にて野営
●ボーイ隊　８-１４日　自然の森山荘敷地内にて野営　●カブ隊１０-１４日　自然の森山荘にて舎営
●ビーバー隊　１２-１４日　自然の森山荘にて舎営　●保護者隊１２-１４日　林間学園で宿泊・食事は山荘
●実行委員長　大滝ＲＳ隊長　●実行委員　ローバースカウトのみなさん＆保護者代表田邉団委員

「団委員長メッセージ」 高根博信

ボーイスカウト目黒一団第７回ダンボリーが８月８日より８月14日まで晴天に恵まれ自然いっぱいの清里で開催されました。
スカウト、団関係者、保護者の皆様ご参加ありがとうございました。
大きな怪我もなく参加したスカウト、保護者もタンボリーを楽しんで頂けたのではと思っております。

●舞台裏から見たダンボリーのお話しを致します。
格的にダンボリーの準備に入ったのは今年の初め、リーダー達はダンボリーを成功させる為に何度も何度も集まり打ち合わせをし宿の選択、目黒区の施設やバス会社へ段取り予算がない中での価格交渉、2 度-3 度にわたる現地視察重ね、もちろんダンボリーの視察予算はありませんからすべて皆手弁当です。視察時の労賃は出せないまでも交通費や食事代程度は出してあげたいと心が苦しくなりながら！　そんなリーダー達の影の努力があってのダンボリーであることを皆さんにお伝えしておきます。
●成功してあたりまえのボーイスカウト
ボーイスカウトは準備８の実行２と言われますがダンボリー後のリーダー会議（団会議）でダンボリーを振り返ってみましたがリーダー達から出でくるのは反省点ばかり！逆に言えば準備をしっかりしてきたこそ反省点が出てくるのかもしれません。
ビーバー隊からローバー隊までが一同に集るダンボリーは本当に大変だと思います。
リーダーの皆さんありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

第7回団ボリーを終えて（全てに参加してきて）

副団委員長:田邉建一朗

第1回団ボリーから4年毎に開催してきた目黒1団団ボリーを今年8月に八ヶ岳にて開催できたことは、1991年に第1回開催以来全ての団ボリーをみてきた私としてはその歴史も4半世紀に渡ったこととなり感慨深いものがあります。4 年毎に開催というのはボーイスカウトの大きな行事である世界ジャンボリー、日本ジャンボリー、日本ベンチャー大会など4年毎に開催される行事に重ならないように実施することや、通常の年に行われている各隊のプログラムを阻害することなく、且つ団の保護者にも参加いただき団全員の結束を計るような重要なプログラムとしてスタートしました。4年毎にスカウトの成長が見ることができる素晴らしい行事だと今回改めて思いました。しかし、その反面 2003 年の第4回団ボリーにはスカウト保護者全員で130名が参加していましたが今回は約半数になっている現実も直視しなければならない複雑な想いも感じています。
今回の団ボリーから強く思うことは、日頃の訓練や技能の低下が招くリスクがかなり見受けられますので、特に日頃の野外活動をもっともっと重視したプログラムとりわけキャンプの技能向上が必要かと思います。ビーバーやカブにおいても野外活動の重視をお願いしたいと痛感いたしました。経験によって学べることが沢山ありますので、学んで技能を身につけることが、実際のキャンプや野外活動をより楽しいものにしてくれるものです。4年後も素晴らしい団ボリーが開催されますように。

弥栄

ベンチャー隊

ベンチャー隊は8月9日から12日にかけて、スカウト3名と隊長で茅野から清里までの移動野営をおこないました。12日からは後発のスカウトも含めて自然の森山荘で固定野営をおこない団ボリー行事に参加しました。

8 月 9 日 茅野バス停～夢風林キャンプ場
移動野営班のスカウト 3 名、リーダー1 名は新宿から高速バスで茅野バス停へ。 茅野バス停からキャンプ場へは前半は町の中を、後半は別荘地の入り口を、ほぼ登り坂で向かう。スマートホンの歩数計によると本日の移動距離（以下＊）: 12.32km

8 月 11 日 立場川キャンプ場～個人宅駐車場
今回の移動ルートはほぼ舗装道路だが、この区間では未舗装の信玄の「棒道」を通る。棒道はボーイ隊時代にハイキングや肝試しで通ったことのある道。未舗装の道の方が足が疲れない。 ＊:31.53km

8 月 13 日 固定キャンプ二日目
合同プログラムの準備。バーベキュー準備組と大営火準備組の二つに分かれて作業。大営火では各自が主役のつもりで頑張りました！ ＊:13.62km

8 月 10 日 夢風林キャンプ場～立場川キャンプ場
想像していたペースより速く、お昼には目的地に到着。キャンプ場内にある川で水浴しリフレッシュ！しかし水は雪解け水の様に、非常に冷たく「水が痛い」 ＊:25.01km

8 月 12 日個人宅駐車場～清里自然の森山荘
移動日、最終日。今までダラダラと標高を上げて登ってきたが最終日は一気に峠を登る、一番ハードな区間。途中、ビーバー隊・保護者のバスに出会えることを期待しつつゴー！
固定キャンプから合流のスカウト 2 名も含め買い出しついでに、隊長オススメの八ヶ岳で一番美味しいソフトクリームで！
夜間プロはスキー場まで流星観察。事前のお祈りも通じず、雲が多く全く見えない。。。お祈りが逆効果？！
最終電車でスカウト1名、リーダー1名合流。これで参加メンバー揃う。 ＊:31.26km

8 月 14 日 団ボリー最終日
ベンチャー隊の撤営はそんなに時間がかからないのでその後はボーイ隊スカウトのお手伝い。元班長達が手際よく進めていました。 ＊:6.73km

総 括
例年に比べると、ただ歩くだけではなく、ゆとりのある移動野営でした。ゆとりがあれば昼寝も出来、次の工程への体力も回復しその結果、歩くスピードも維持でき、次の目的地にも早く着く。そしてまた、ゆっくり休む。 その相乗効果は安全性も高められ、さらに達成感も味わえます。
後半は固定キャンプでベンチャーらしく行動も出来て、充実した6日間でした。今回参加した6名のスカウトのうち、3 名はベンチャー隊卒業です。来年からはローバー隊で、リーダーとしてキャンプに参加です。ようやく今までの経験が生きてきたかと、今回の行動を見て実感できました。
来年の夏が楽しみですし、期待しています！！ VS隊・佐藤隊長

私にとって、今回が初めての移動野営でした。今までのキャンプとは違っていて、大変なことも多かったですがそれよりも楽しいことがたくさんありました。天候にも恵まれてありがたかったです。

棒道や道路色々な景色の中を歩けたので、自然をとても感じました。

最初から最後まで歩き切れてよかったです。次回があれば今回の自信を持って、また頑張って歩こうと思います。

（VS・山中スカウト）

今回わたしたちは、茅野、小淵沢にて移動キャンプをおこないました。今回私は、移動キャンプが 2 回目ということで、少し気持ちを落ち着かせてのぞむことができました。

今回一番驚いたのは歩く速度でした。移動キャンプということなので当然ながらテントや寝袋などの重い荷物を持って歩いていました。本来ならその分遅くなるはずですが、今回は、何も持ってないときとほぼ同じ速度で歩いていました、歩いているとき私たちはほとんど話さずに黙々とただゴールを目指して歩いていたと思います。だから早く歩けて行けたのだと思います。そして午後はとてもゆったりとした時間を過ごすことができました。

今回の移動キャンプはとてもメリハリあるものでした。しかし一方で、準備段階のときに反省すべき点もあったので、次回につなげていこうと思います。

（VS・小松スカウト）

16 年夏、私は八ヶ岳山中にいた。夏の青い空と大きく膨らんだ入道雲はまさに日本の夏のようだった。真緑に茂った木々が都会という日常から大きく離れて遥遥とやってきた私たちを歓迎しているようだった。八ヶ岳の夏は都会より涼しく、特に日陰は自然の冷房機のような役割を果たしていた。朝夕は寒いこともあったが、日中には過ごし易い気温となっていた。

長々と夕方まで歩き続ける今までの状況とは違い、今年は早ければ午前に、遅くても昼過ぎには大方目的地に到着していた。これにより従来の夕食ではなく、昼寝をすることができたのはとても落ち着くことができ非常に清々しい体験であった。

しかし、本格的に最終目的地に到着したとき、私たちには四年に一度の大きな行事が待っていた。これは今までの安心感とは裏腹に、準備をする側としての緊張感や疲労を伴った。本番の日、空模様は悪く私は最悪を予感した。しかし、努力は報われたのか天候は好転し、また改革も順調に進んだ。初めて準備するものとしての参加は達成感と感動の嵐であった。

（VS・ワーグナースカウト）

今回、ベンチャースカウトとして最後のキャンプでしたが、予定をどうしても空けることができなかったためメインイベントの移動野営に参加することができませんでした。しかし 2 泊 3 日ほどでしたが団のイベントにはしっかり参加することができましたのでとても満足です。

塾を終えた後最終の特急電車で向かいました。キャンプ場までの道のりは明かりが一つもなくヘッドライトを消してしまえば何も見えないほどでした。次の日からはイベントの準備が忙しく一日中手を動かしているようでした。その中でキャンプファイヤーを行うスタンツの話を練らなくてはならず直前まできまりませんでした。結果としては私達がかかわらせていただいたバーベキューやキャンプファイヤーは予想以上に喜んでもらえたようでとても安心しました。大学受験を終えるまでこれが最後のイベントになってしまうのですがとても良い思い出を作ることができ良かったです。

（VS・柴田スカウト）

今回は途中からの参加でしたが、スカウトとして最後に団ボリーに参加することができて本当に良かったと思っています。バーベキューも大営火でもたくさんのスカウト、保護者の方々と関わることができて楽しむことができました。ベンチャースカウトとしてリーダーのサポートを通し、普段気づくことができない大変さを知ることができたように思います。富士章取得を目指して残りのスカウト活動を充実させられるように頑張ります。

（VS・森スカウト）

移動野営に参加できず、団行事のみ参加で本来の活動が出来ず少々残念。

久々のテント生活でしたが、色々不具合や勝手がちがう事もありましたが満足であります。

VS 夏季行事は、企画、計画、準備、実施、評価となりいかに段取りよく準備できたかにかかっていました。それぞれスカウトは良い体験が出来た事でしょう、今後のプロジェクトに向けて生かして頂きたいです。

VS スカウトと共に団行事の準備を行い、スカウトにとってリーダーの仕事が見られて勉強になったのではないでしょうか、今後の活動を期待しております。

（VS隊・原山副長）

ボーイ隊

ボーイ隊は8月8日から14日にかけて、清里自然の森山荘さんの敷地で夏季野営を行いました。今年は団ボリーの年のため12日以降は一団全体が揃い夏季行事となりました。

1日目(8月8日)、例年とは異なり高速バスと現地での電車やピクニックバスを使用して現地へ向かいました。到着し設営を行いました。キャンプ経験の少なさや上級班長不在などの理由から、リーダーも手伝いながらの設営となりました。夕食準備ではかなりの苦戦を強いられましたが、美味しいご飯を食べることができました。

2日目(8月9日)、この日のメインは美化工作です。竹と縄を用いて生活に必要な立ちかまどやテーブルを作りました。ロープワークの得意な多田スカウトが率先し、他のスカウトにも良い影響を与えている様子が印象的でした。他にも、学年別訓練でナイフの研ぎ方を勉強した塩月(妹)スカウトがそのナイフで彫刻をしてサイトの表札を作るなどもの作りの1日となりました。

3日目(8月10日)、2日目の美化工作では班生活に関するものを作りましたが、3日目は隊全体で使用するゲートと掲示板を製作しました。ゲートでは竹を縛りBSM1(ボーイスカウト目黒1団の略)と文字を作りました。そこでは塩月(兄)スカウトのひらめきから完成度の高いものへと繋げることができました。掲示板は西村副長のアドバイスもありましたが、塩月(長女)スカウト1人での製作となりました。2日目同様にナイフを駆使して素敵な作品となりました。

4日目(8月11日)、キャンプ中日ではハイキングを行いました。標高の高い位置でのハイキングでしたのでかなり厳しかったとは思いますが、中2スカウト2人が小6スカウトを引っ張り、それに小6スカウトも負けじとついていっている様子が印象的でした。山頂ではパノラマスケッチを行い、その後牧場に立ち寄りソフトクリームを食べました。キャンプの疲れを吹き飛ばすほどの美味しさで、スカウトだけでなくリーダーも大喜びでした。その後サイトに戻り、無事全員完歩となりました。

5日目 (8月12日)、午前プログラムのワークショップでは、クッキーの生地を作り、その後残ったリーダーが焼きました。スカウトは車で近くの滝沢牧場へ行き、乳搾りなどの酪農体験を行いました。牧場から戻った頃に、焼き上がったクッキーに舌鼓を打ちました。　午後はリオオリンピック開催の時期であったことにちなみスカリンピックを行いました。竹で自作した弓矢で風船を狙うアーチェリーでは、風船を膨らませる準備で苦労するスカウトもいました。思ったより上手く割ることができず、苦労して大量に膨らませた風船が余ってしまいました。木の間にザイルを張ってそれを伝って進むレンジャーリングでは、ザイルを進むタイムを競うレースで、一年目のスカウトの方が、身体の軽さを生かして上の年代よりも速いタイムを叩きだすことに成功していました。　夜は、スカウトたちが事前にメニューを調べてきたスナック菓子を繋ぎに使うハンバーグと、お好み焼きを作り、リーダーはダッチオーブンを使ったパエリアを作りました。隊付の手腕で豪華に出来上がったパエリアはリーダー、スカウトから絶賛されていましたが、スカウトたちの料理もキャンプで中々食べる機会がないお好み焼きや、肉汁を使ったソースを作るなど細かい工夫を凝らしたハンバーグもおいしくできていました。夜プログラムでは森の中にばら撒かれたトランプを拾い、その数に応じて両手で持ちきれないぐらいのお菓子をもらっていました。特別な絵札に割り振られたカードは、各リーダーが愛用していた道具、記念品などと交換し、どれもリーダーの思い出深いエピソードと共にスカウトに受け渡されていきました。

5日目(8月13日)、午前プログラムでは、本来は最終日に行うものですが、当日速やかに現地を出られるように前日撤営も行いました。ここで初日に立てた資材用テントや美化工作した立ちかまどなどを片づけました。　午後からはローバー隊の主催する団ボリープログラムに参加し、普段とは違う年代とゲームやバーベキューをして、他隊との交流を深めていくことができました。　夜に行われたキャンプファイヤーでは、現代風にアレンジしたユニークな赤ずきんちゃんのスタンツで、参加された方々を他隊に負けないぐらい
大いに盛り上がらせていました。　最終日は消灯の笛はなく、お菓子を食べながら期間を通した思い出話をスカウトたち同士でしてもらいました。

6日目(8月14日)、最終日で、午前から慌ただしく撤営をして、「来た時よりも綺麗に」をモットーに、前日撤営で少なくなった分、丁寧に片づけをしました。スカウトの手が足りないところに、ベンチャースカウトも手伝いに来てくれたおかげで行程が早く進み、大きく時間の遅れを出すことなく、リーダーが確認する本部点検も見事パスして撤営を終えることができました。その後、各隊合同の閉営式の後に、ボーイ隊の閉営式も終えて、バスに乗って東京まで戻ってきました。　期間中、大きな怪我や病気もなく、参加スカウト全員が元気に東京に戻り、今回の経験でより逞しくなった成長してくれたと思います。

8 月 13 日　団ボリー期間中に初級の面接が行われ、塩月・森島スカウトの 2 名が　目出度く初級を完了いたしました。次は 2 級スカウトへ向かって頑張って下さい。

今回のボーイ隊のキャンプは、3回目の参加でしたが、新しい出来事が多かったです。
その中の1つが、6,7日目の団ボリーの全体プログラムです。何故なら、普段の1週間をボーイ隊だけで楽しくやっていました。
しかし、今回は団ボリーの全体プログラムがあったので、いつものキャンプ以上の人数で活動できたので、知らなかった人たちとも交流できたので知り合いの輪が広がったし、楽しめました。なので、とてもいい夏の想い出になったと思いました。

多田スカウト

僕は今回のキャンプで反省点がいくつかあります。
ひとつは、協力ということです。僕は指示したことがちゃんと出来ない班員にイライラ」してしまい、言葉や態度がきつくなってしまったことが度々ありました。
2 つ目は、副班長としての仕事です。副班長は朝礼などのときにメモを取らなければいけないのに、つい忘れてしまうことが結構ありました。これからは副班長としての自覚と考えをもって行動して行こうと思います。
今回のキャンプは反省だけでなく、「火起こし、美化工作、調理などで役に立てた」という成果もだせました。
今回のキャンプを今後に生かして行きたいと思います。

塩月（兄）スカウト

私は、カブの時も行ったことがなかったので、初めての夏キャンプでした。その夏キャンプでは、今までつかったことがないナイフの使い方や、苦手で全然知らなかったロープ結びを詳しく教えてくれて勉強になりました。虫は苦手だったので、たくさん虫がいることには本当に嫌で、耐えられなかったけど、少し慣れたと思いました。他にも、自分で料理することや、設営が勉強になりました。これからは、キャンプで習得した料理の技術とロープ結びを今後に生かしたいです。

塩月（妹）スカウト

今年初めて森での野営をしました。野営は、舎営と違い、料理をするのもテントを建てるのもテーブルをつくるのも全部自分達でやって、すごく大変だとわかりました。六日目に朝ご飯をつくるときに五日目に雨が降ったのでマッチが少ししめっていて火をつけるのも大変でした。私は五日目からしか行ってないけれど、とても楽しかったです。今回はあまり手伝うことができなかったので、今度野営をする時はしっかり手伝おうと思いました。

森島スカウト

カブ隊

カブ隊は8月10日から14日の4泊5日で団ボリーに参加しました。今年のテーマは「トレジャーハンター」。今までは、夏の舎営が年度の終わりでしたが今年からは「年度途中」。舎営の成果を踏まえてこれからが本番です！

8 月 10 日（1 日目）

初日のこの日は祐天寺の駐車場に集合し、バスにて清里自然の森山荘に向かいました。今年のテーマはトレジャーハンター。八ヶ岳に眠るといわれる秘宝を探します。
往路は高速の渋滞もなく、予定より早く現地に着。開営式を行いました。
その後自分たちの荷物を整理し、昼食をはさんで午後プログラム。宿舎、周辺施設の散策を行いました。夜間プログラムは、各スカウトがこの舎営中どのように成長したいか、飯島隊長に一人ずつ決意表明する儀式を行いました。

8 月 11 日（2 日目）

2 日目の午前プログラムは弓矢づくり。竹ひごとタコ糸を使って一人一つずつ弓矢を作り、完成した弓矢を使ってグラウンドにてゲームを行いました。午後は技能訓練ということで、トランプを使ったアップダウンゲームと、舎営恒例のポカジャン（叩いて被ってジャンケンポン）大会を行いました。
夜間プログラムは肝試し。宿舎近くの林道にてごく短い距離で行いました。スカウトたちは大いに勇気を振り絞って挑戦していました。

8 月 12 日（3 日目）

3 日目は午前・午後を使ってハイキングを行いました。前日の肝試しで見つけた地図をもとに、秘法の手がかりを発見するというストーリーで、渓谷沿いを登る挑戦的コースを歩きました。うさぎ中心のスカウトたちは体力的にかなり大変だったとは思いますが、最終的に誰も欠けることなくゴールまでたどり着くことができました。
夜間プログラムは、ハイキングで発見することができた手がかりをもとに、ついに八ヶ岳の秘宝を発見しましたが、秘宝を守る番人の目をかいくぐって宝を手に入れなければならない･･･という内容で忍び寄りゲームを行いました。

8 月 13 日（4 日目）

4 日目は午前中に恒例のおっぽとり大会！広いグラウンドで、のびのびと行いました。おっぽとり大会後には、最終日に宿にお渡しするノッティングボード作り。各年代に分かれ、自分が習得したロープワークを一生懸命ボードにまとめていました。
午後プログラムからは、団ボリーのプログラムになりました。まずは各隊スカウト全員＆保護者参加の方々全員でチームを作っての全体ゲーム大会。楽しいゲームがローバー隊によって準備され、スカウトたちは普段一緒に活動することのない他隊のスカウトたちと団結して様々な課題にチャレンジしました。全体ゲームを終えたのちは、全員で広場に集まってのBBQ大会！他の隊のスカウトたちと交流を深めつつ、野外でのBBQを満喫していました。BBQ後は待ちに待ったキャンプファイヤー。趣向を凝らした点火セレモニーにはじまり、楽しいソング・ゲームに加え、カブスカウトたちは初日からの組集会で練習を重ねてきたスタンツを発表しました。

8 月 14 日（5 日目）

ついに最終日を迎えます。午前プログラムは舎営の締めくくりとなるプログラムです。スカウトたちの舎営期間中の頑張りにより、トレジャーハンターとして世界的な認定を受けることができ、その認定証を一人ひとり飯島隊長から受け取ります。さらに、期間中特に目覚ましい成長を遂げたスカウトには特別な表彰を行いました。

その後昼食を食べ、団全体でバスに乗り込みます。スカウトは元気そうに見えてもやはり舎営期間中の疲れがたまっていたようで、発車するとほぼ同時に全員眠りに落ちていました。帰りは渋滞にどっぷり嵌まってしまい、帰着予定時間を大幅に遅れての祐天寺着となりました。時間が押していたこともあり、各隊速やかに儀礼を済ませて解散となりました。

◎団ボリー総括

今回からの夏期舎営は、制度変更によって１年間の活動の集大成という形ではなくなってしまいました。そんな中で、今年は一体どのような舎営になるのだろうか、そのようなある種の不安をリーダーは持っていました。しかし、年度の中での位置付けが異なったとしても、スカウトにとってはこの舎営が夏の一大イベントであることには変わりありません。また今年は１年目のうさぎスカウトの比率が高かったこともあり、スカウトにはぜひとも「これがカブ隊の舎営だ！」というものを体感し、楽しく充実した 4 泊 5 日の生活を送ってほしい、そのような思いを持って実施いたしました。期間中、時には体力的・精神的にハードな部分もあったようですが、組や隊のスカウト全体での協力によって、参加スカウト全員が大きな事故無く帰ることができ、良き思い出となったようです。

さて、今年度カブ隊では、スカウトがトレジャーハンターとなり、かつて隊長が捜し求めていた秘宝を探すために活動を行っています。今回の夏期舎営で、八ヶ岳に伝わる伝説を追い、見事宝の在処に到達することができ、1人前のトレジャーハンターとして認められることができました。カブ隊の活動はこれからが本番と言っても過言ではありません。今回の舎営で成長し、さらなる発展を目指すスカウトの姿にご期待ください！　　（飯島CS隊長）

ビーバー隊

ビーバー隊は8月12日から14日の2泊3日で団ボリーに参加しました。参加スカウトは６名、リーダーは５名（内２名補助者）でした。いつもと違う大きなフィールドで元気いっぱい活動しました。

1日目（８月１２日・金）

6時半に祐天寺駐車場に集合、清里に向けて出発。到着後、保護者参加者とハイキング、眺めの良いサンメドウズスキー場の頂上で、昼食を取りました。

結構大変な道のりでしたが、元気なビーバー達の歩くのが早いこと、追い付くのが大変でした。帰りはリフトでくだり、「恐いね～」と言いながらも 眺めを楽しんでいました。

宿舎に到着後は、宿舎の近くを散策。大きな蜂の巣にはビックリ！興味津々のビーバーでした。

おやつは、スイカ割り。うっかりボーイ隊の分も食べてしまって 申し訳ありませんでした。カブ隊にもお裾分け、皆で美味しくいただきました。スイカの食べかすでクワガタの罠を作るとビーバーから企画の提案があり、皆であちこちの木に仕掛けました。結果は残念でしたが、自然の環境ならではの楽しい企画でした。

夕食後は 花火大会、日本製の特大手持ち花火に大喜びでした。

2日目（８月１３日・土）

２日目のテーマ『ハンター』清里の森に「熊」出現の情報を入手。

まずは森の下見にでかけ、鹿の足跡や糞を発見。木の皮を食べた後が、あちこちにありました。そして 熊退治の武器作りで、牛乳パック ブーメランと 新聞ヘルメットの製作に取りかかりました。準備万端、熊はトンボの広場に居るとの情報、いざ 熊退治に出発です。何千びき 何万びき、手を伸ばせば掴めそうな トンボの広場に、熊出現～。水風船で 襲いかかる熊に、ビーバーはブーメランで立ち向かいました。

午後からは、合同ゲーム大会。スカウト・保護者全員でゲームをしました。広い広場一面に広がって、思いきり走り回りました。

夕食は、バーベキュー大会。ローバーの頑張りで、たくさん美味しくいただきました。

夜は、キャンプ ファイヤー。ビーバーも炬を持って、点火に参加しました。ローバー企画の点火には、感動しました。ビーバーもスタンツに参加。『クワガタがガシガシ』で 周りも巻き込み、大成功でした。

合同企画を通して、ビーバーも保護者も 近い将来を想像して 感動満載の１日でした。

3日目（８月１４日・日）

アッと言う間の２泊３日最終日です。お世話になった宿舎の清掃活動。全員で順に掃除機をかけ、隅々まで 雑巾がけをしました。

帰りも 大きな渋滞にははまらず 順調に祐天寺まで帰ってきました。

全員が 小枝章をもらい、元気なビーバーコールで 締めくくりました。

保護者隊

保護者隊（父母・団委員等）は8月12日から14日の2泊3日で団ボリーに参加しました。ビバー隊、途中参加のデンリーダー、BS／VSスカウトたちと一緒のバスです。このほか途中から一泊や日帰りで参加された父母もありました。

１日目

BV隊と同じバスで出発。現地到着後、BVと一緒にハイキングでサンメドウズ登山、山頂で昼食。午後宿舎（目黒区林間学園）に入る。夕食は山荘にて。そのまま山荘でクラフト体験、田邊団委員の指導で革の「ネッチリング」を作りました。

２日目

午前中はキャンプファイアに備えてスタンツの練習。その後保護者プログラム「スカウト体験」。山荘の敷地内でクイズラリーと、自分達で拾った薪とアルミ缶でご飯を炊くサバイバル炊飯をおこないました。午後は全体プログラムのゲーム大会に参加、大人も子供も大いに盛り上がりました。夕食はバーベキュー、リーダーやベンチャースカウトが調理をおこない、美味しく頂きました。最後は全体でキャンプファイヤー。火が飛んでくる着火や様々な趣向を凝らしたスタンツなどで楽しい一時。夜には懇親会をおこない父母間の交流を深めました。

３日目

スカウト全員そろっての朝礼に参加、その後バスで「清泉寮」に移動し「観光プログラム」。アイスを食べたりお土産買ったりしばしの自由時間を楽しみました。宿舎に戻って昼食後閉営儀礼、楽しかった団ボリーを終えて一路祐天寺へ…

団ボリー２０１６を終えて

保護者代表団委員　田邊雅健

今年は団ボリーと言うことで、保護者も沢山の参加者が集まりました。

自分の子供がいる隊だけでなく、上級生のキャンプ風景なども見れる、いい機会です。さらに今回は、見学だけではなく保護者の方にもスカウト活動を体験出来るように、企画しました。

ハイキングは、ビーバー隊と合同で行いましたが、元気なスカウト達に頑張って付いていきました。残念ながら雲が多く、遠くの山々までは見えませんでしたが、出発地点は遥か下のほうに見ることができました。

レザークラフトでは、ネッチリングを作成しました。みんなお揃いで、今回参加した記念になります。

二日目は、カブ隊のテーマ「トレジャーハンター」にちなんで、昼食を賭けた宝探しクイズラリーを行いました。佐藤隊長のあだ名、覚えてますか？？？宝探しでゲットしたお米は、空き缶で炊きました。震災時などにも使える技です。薪拾いや火おこしの体験をし、結果は、半分くらいは何とか合格。残りは失敗。。。これもキャンプの醍醐味。炊いたお米は、お昼のカレーで食べました。

午後は、縦割り班の全体ゲーム、バーベキュー。子供たちの食欲に、大人たちはたじたじでした。。。

夜はメインイベント、キャンプファイアーです。点火の儀式には歓声が上がりましたね。保護者スタンツも張り切って頑張りました。中でも、ベンチャー隊の柴雪姫は、保護者の中でも大評判でした。彼らがリーダーとして育ってくれると思うと、今後の１団は、益々楽しくなることでしょう。

最終日は、清泉寮へ観光。定番のソフトクリームは大人気でした。2 泊 3 日のプログラムを終え、無事に帰ることができました。

保護者間の親睦も深まり、今後の活動にも大いに役立ったと思います。

リーダーの皆様と、裏方を頑張ってくれたベンチャースカウト達に感謝。

団ボリーに参加して

カブ隊保護者　蔵田由紀子

息子が、入隊してから初めての団ボリーでした。目黒一団、4 年に 1 度の大イベントですので、とても楽しみして参加いたしました。

行程 2 泊 3 日、ハイキング、クラフト、ネーチャーゲーム、団全体でのゲーム、キャンプファイヤー等々、盛りだくさんのプログラムはどれもとても楽しくて、あっという間に過ぎてしまいました。

ボーイスカウトならではなプログラムのうち 2 日目午前中に行ったネーチャーゲームではお宝探しはスカウト達の活動体験できました。思ったより頭と体を使い、チームで試行錯誤しながら相談したりしてクイズを解いていくのは楽しかったです。息子もいつもこんな風に楽しく活動しているんだなあと実感したプログラムでした。

また、午後の全体ゲームはビーバーから保護者まで幅広い年代がみんなで楽しく参加できるゲームが行われました。後で、指導者の方から「4 年前はボーイ隊で参加する側の子が、立派に企画する側に成長している」というお話をうかがいました。4 年毎のこの行事が節目となり成長を確認できるイベントになっていることも、団ボリーの良いところだと感じました。

この日の夜はキャンプファイヤーがありました。私は（ボーイスカウトのキャンプファイヤーはすごそうだなー）と楽しみにしていました。その期待以上、趣向が凝らされた着火、団委員長の神秘的なお話、幻想的な演出でとてもワクワクしました。いよいよキャンプファイヤーが始まり、火を囲んでの楽しいスタンツは、クリスマス会のスタンツとは全く雰囲気が違い、非日常的な空間でした。皆で、歌って、踊って、笑って、、、大人の私がこんなに楽しかったのだから、スカウトたちはなおさら楽しい夏の思い出になっているのではないでしょうか。この様な経験ができるボーイスカウトって素晴らしい！です。

私は、今回の団ボリーに参加して、スカウトの活動を間近で感ることや、実際に体験したことにより、ボーイスカウトの活動について理解を深める事ができました。また、色々な方々とお話しする事ができ親睦を深めることができました。本当に充実した 2 泊 3 日を過ごせたと感じております。さらに、子供と共有の思い出ができたことがとても嬉しいです。

4 年後の子供の成長を楽しみに、団ボリーにまた参加できたらと思っています。

団ボリー　7回（25年間）の足跡

回数	実施期間	場　所	所在地・施設等	参加人数
第１回	1991 年 8 月 19～26 日	北海道夕張郡栗山町	北海道栗山町・ﾎﾃﾙﾊﾟﾗﾀﾞｲｽﾋﾙｽﾞ	約１２５名
第２回	1995 年 8 月 11～17 日	福島県尾瀬	福島県桧枝岐村・七入山荘	約１００名
第３回	1999 年 8 月 10～15 日	奥草津	群馬県中条町・日本鋼管休暇村	約１００名
第４回	2003 年 8 月 11～17 日	南信州・高森町	長野県高森町・森の家	約１３５名
第５回	2007 年 8 月 12～18 日	福島・会津磐梯	福島県猪苗代町・国立磐梯青少年交流の家	約９０名
第６回	2012 年 8 月　6～12 日	富士西湖	山梨県富士河口湖町西湖南・民宿白樺荘	約８０名
第７回	2016 年 8 月　8～14 日	清里自然の森	山梨県高根町清里・自然の森山荘	約７０名

次の団ボリー
彼らはどんなスカウトに育っているでしょう

各隊活動報告＆活動予定

	16年8月の活動		16年9月の予定	
BV	12～14日	団行事（団ボリー）	4日	隊集会（料理）
			19日	団行事・募金＆夏季行事報告会
CS	10～14日	夏季舎営（団ボリー）	11日	隊集会（料理）
			19日	団行事・募金＆夏季行事報告会
			25日	地区合同隊集会
BS	7日	ダンボリ荷物積込	18日	ハイキング
	8～14日	夏季野営（団ボリー）	19日	団行事・募金＆夏季行事報告会
	15日	片付け		
VS	8～14日	夏季行事（団ボリー） 8～12日　移動野営 12～14日　固定野営	9日	隊会議
			13日	
			16日	
			18日	
			19日	団行事・募金＆夏季行事報告会
RS	8～14日	団ボリー		